

問合先の記載がないものは、全て **問**健康推進課（保健センター内） ☎21-2300
〒492-8217 稲沢市稲沢町前田365-16 **※受付時間：午前8時30分～午後5時15分**

産後お泊りケア **ID2299**

対市内在住の出産後4カ月未満の方
内心と体を休めながら、指定医療機関で子どもと一緒に育児相談や授乳指導を受ける
¥1日2,500円（5日間以上利用した場合1日5,000円。収入に応じて免除があります）※部屋代、食事代などが別途必要
利用期間 7日以内
申健康推進課へ

不妊治療費補助制度

対夫または妻が市内在住で、医療機関で不妊治療が必要と認められた夫婦
助成額 保険診療対象の自己負担額全額（限度額25万円）
申不妊治療を受けた日の属する年度ごとに健康推進課へ。詳しくは、 **ID2276** で確認してください
他令和6年3月分は、令和5年度までの制度に基づいて実施

節目で見直そう！女性健診～骨と歯の健康のために～ **ID2279**

時7月18日(木)、午前8時45分～9時15分（受付時間）
場保健センター
対市内在住で健診時40・45・50・55・60・65・70歳の女性
定50人（先着）
内骨粗しょう症検診、歯科健康診査、歯みがき指導
持歯ブラシ、コップ、手鏡、タオル、健康手帳（ある方のみ）
¥500円（70歳の方、65歳の後期高齢者医療受給者、生活保護受給者は無料）
申6月11日(火)～7月11日(木)に、健康推進課へ

胃がん検診（集団実施） **ID2277**

時①7月4日(木)②7月10日(水)、午前8時40分～10時30分
※時間の指定はできません
場①保健センター祖父江支所②保健センター
対市内在住で検診時に40歳以上の方（昨年度、胃内視鏡検査を受けた方は除く）
定各50人（先着）
内胃部レントゲン間接撮影
¥500円（70歳以上の方、65歳以上の後期高齢者医療受給者、生活保護受給者は無料）
申6月4日(火)から、電話で健康推進課へ（1回の電話で3人まで受け付け）
他胃カメラによる検診を希望する方、糖尿病などで内服治療中の方は、8月～10月に実施する胃がん検診（医療機関実施）を受けてください

障害児・障害者歯科健康診査 **ID2317**

時7月25日(木)、午前9時～11時
場保健センター祖父江支所
対市内在住の障害児・障害者
定10人（先着）
内歯科健康診査、歯みがき指導、フッ素塗布
持障害児…歯ブラシ、コップ、タオル、洗たくばさみ、母子健康手帳、受診サポート手帳（手帳はある方のみ）
障害者…歯ブラシ、コップ、タオル、手鏡、健康手帳、受診サポート手帳（手帳はある方のみ）
申7月18日(木)までに、健康推進課へ

家庭での食中毒にご注意ください **ID2256**

高温多湿の時期は、食中毒の原因となる細菌が増殖しやすく、細菌性食中毒の発生が増加する傾向にあります。
家庭での食中毒は発症する人が少人数で、症状が軽い場合が多く、風邪や寝冷えなどと勘違いし、気付かずに放置すると重症化することもあります。以下の食中毒菌予防の3原則を心掛けた生活を送りましょう。
●食中毒菌を付けない 調理する前に手を洗う
●食中毒菌を増やさない 冷蔵などが必要な食品は、すぐに冷蔵庫などで保存する
●食中毒菌をやっつける 加熱して調理する食品は十分に加熱する

未熟児の養育医療 **ID2309** 申請書ダウンロード可

入院が必要な未熟児に対して、治療に必要な医療費を助成します。指定の養育医療機関で医療保険を適用して治療した場合、適用対象の治療費と食事療育費（ミルク代）が助成されます。 ※収入に応じて自己負担が必要
対市内在住で、次のいずれかに該当し、医師が入院して養育を受ける必要があると認めた0歳児
①出生時の体重が2,000g以下
②けいれん・運動異常、体温が34度以下、呼吸器・循環器の異常（強いチアノーゼなど）、消化器の異常（繰り返し嘔吐など）、強い黄疸症状がある
申入院中に、必要書類を健康推進課へ



時日時 **場**場所 **対**対象 **定**定員 **内**内容 **講**講師 **¥**費用 **持**持ち物 **申**申し込み **他**その他 **問**問合先 **※**市外局番(0587)は省略
ID市ホームページの「ページID検索」から記事の詳細が閲覧できる番号 **※**無料・申込不要の場合、費用・申し込みを記載していません

熱中症に気を付けてください **ID2265**

熱中症の症状

- 軽度
めまい、立ちくらみ、筋肉がつる、手や口のしびれ、脈が速い、顔色が悪いなど
- 中度
頭痛、吐き気、体がだるいなど
- 重度
顔が赤い、意識障害（言動がおかしい、肩をたたいても応答がない、意識がない）、全身のけいれん、真っすぐ歩けない、ぐったりしているなど

応急処置

- 軽度
涼しいところで足を高くして体を休ませたり、衣服を緩めたりしてください。また、症状に応じて、次の処置をしてください。
- 中度・重度
水や氷で首、脇の下、足の付け根を冷やす救急車を呼ぶ
※意識がないときは無理に水分を飲ませない

予防のポイント

- ・炎天下の外出は控える。外出する場合は、日傘や帽子を使う
- ・室内では風通しをよくしたり、エアコンや扇風機を利用したりする
- ・襟や袖が開いた白っぽい服装を心掛ける
- ・適度な食事、睡眠をとり、体調を整える

各種相談・教室 **※**全て無料。祝休日を除く

名称	日時	場所	内容	その他
健康相談	水曜、午前9時～11時	保健センター	保健師による相談	母子健康手帳・健康手帳のある方は持参。予約不要
	火曜、午前9時～11時	保健センター祖父江支所		
食生活相談	随時	保健センター	食生活に関する相談	電話予約が必要
医師健康相談	6月24日(月)、午後1時30分～3時		医師による相談	6月17日(月)までに電話予約が必要

名称	日時	場所	対象	内容
すくすく広場（身体計測の日）	7月3日(水) 午前9時30分～11時	保健センター	市内在住の乳幼児	保護者による身体計測、子育てネットワーカーによる親子遊び 持 母子健康手帳
ママパパ教室	7月6日(土) 午前9時45分～11時30分		妊娠8カ月までの妊婦と家族	妊娠中の生活・栄養・歯科保健・保育の話 定 40人（先着） 持 母子健康手帳、筆記用具 申 6月5日(水)～28日(金)に、健康推進課へ
プレママごはん	7月17日(水) 午前9時30分～午後1時		妊婦(配偶者の参加も可)	健康的な食生活に関する講話など 定 20人（先着） 持 母子健康手帳、筆記用具、エプロン、ふきん2枚 申 7月10日(水)までに、健康推進課へ
離乳食教室	①7月5日(金) 午前10時15分～正午		5～6カ月の子を持つ方	離乳食に関する講話・実演 定 ①25人②20人（先着） 持 母子健康手帳、筆記用具、エプロン ※ 赤ちゃん連れの方は、おんぶひも・抱っこひもが必要 申 ①6月28日(金)まで②7月3日(水)までに、健康推進課へ
	②7月10日(水) 午前10時15分～正午	保健センター祖父江支所		